



個人投資家向け説明会 資料



株式会社 SJホールディングス

2008年11月29日

1. 企業概要と特徴について





●企業概要

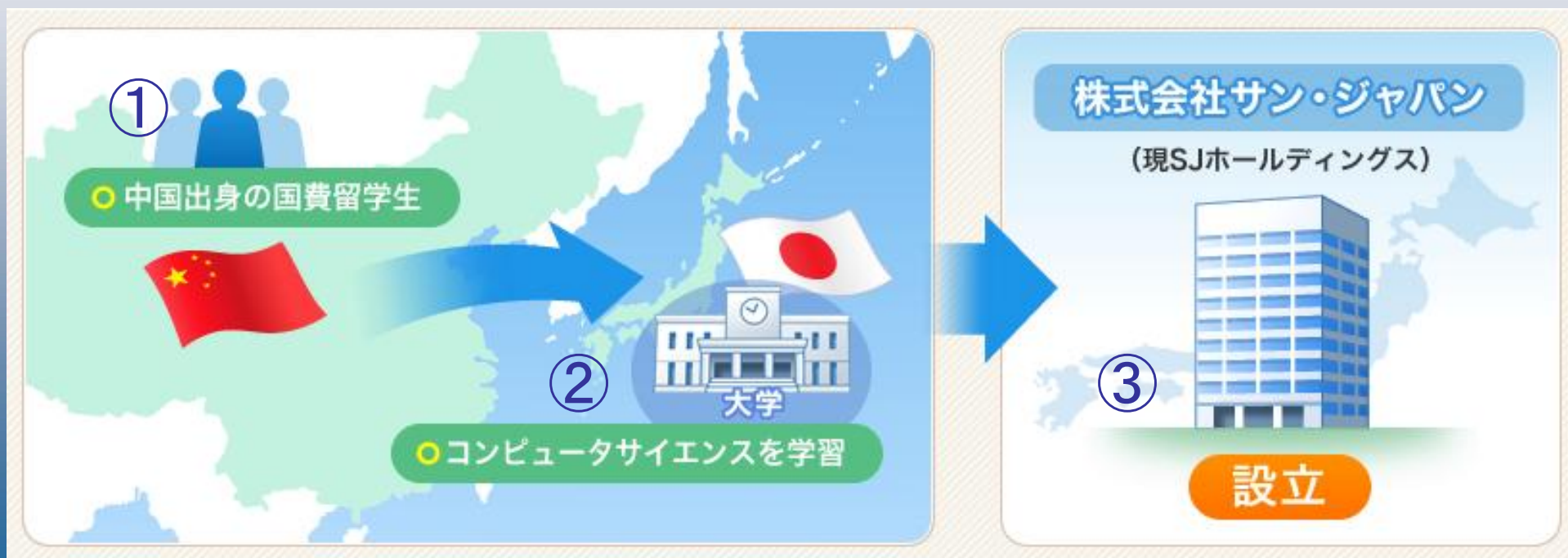
<u>社名</u>	株式会社SJホールディングス
<u>設立年月日</u>	1989年7月14日
<u>代表者</u>	代表取締役会長 兼 社長 李 堅
<u>事業内容</u>	情報サービス(主としてシステム開発)を提供する子会社の管理運営
<u>資本金</u>	10億23百万円
<u>売上高</u>	258 億63百万円
<u>発行済株式数</u>	497,599株
<u>従業員数(連結)</u>	2,634名
<u>上場取引所</u>	株式会社ジャスダック証券取引所 (J-Stock銘柄)
<u>証券コード</u>	2315

※資本金、発行済株式数、従業員数は、2008年9月30日現在のものです。売上高は、2008年3月31日現在のものです



● 起源

- ▶ SJグループは、コンピュータ・サイエンスを専攻した中国の国費留学生が中心となって創業したユニークなグループです
- ▶ 1989年、中国からコンピュータ・サイエンスを学ぶために来日した国費留学生が中心となって、システム設計・開発を行う株式会社サン・ジャパンを設立したのがSJグループのはじまりです





●グループ構成①

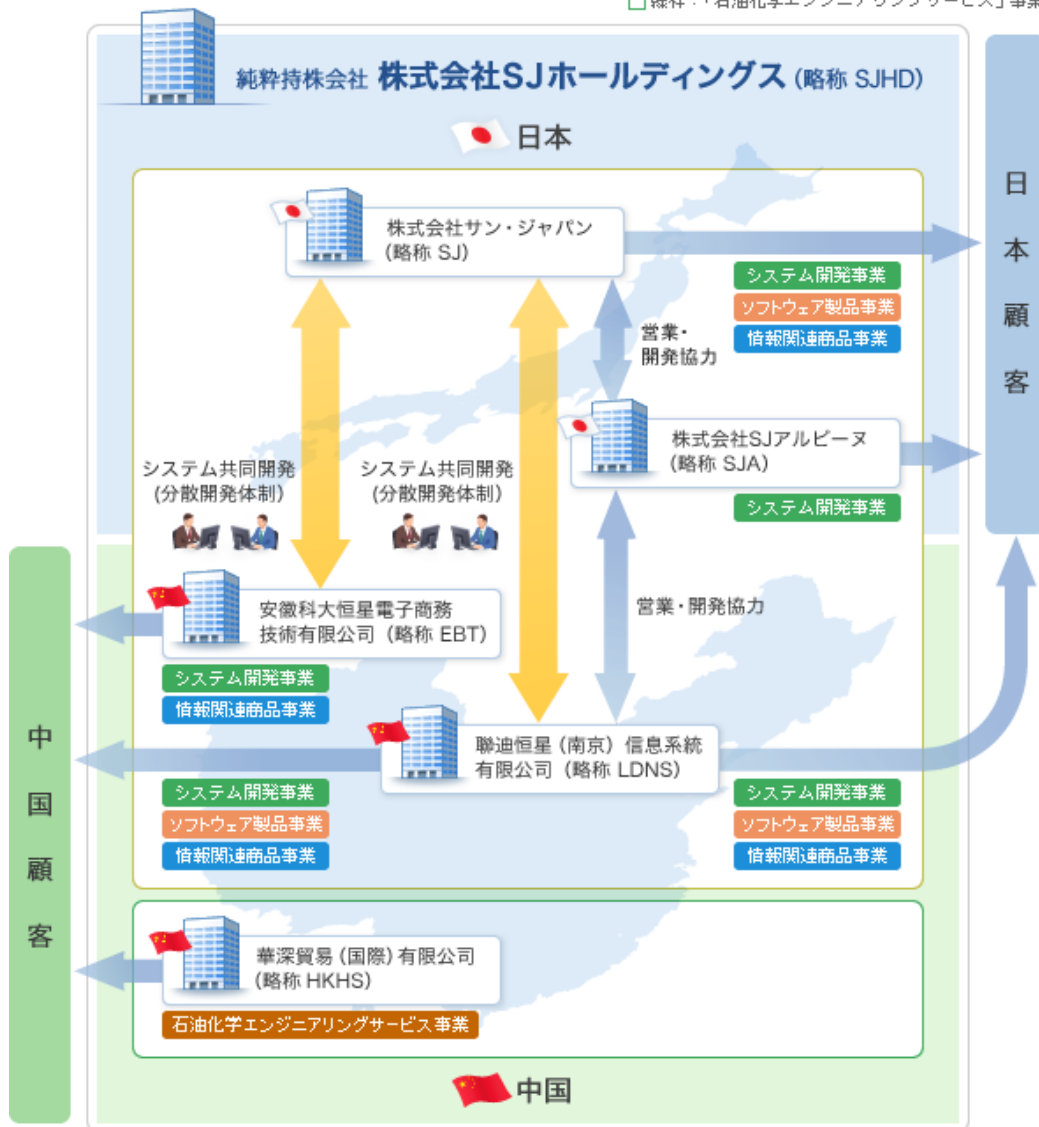
- ▶ SJグループは、純粋持株会社「SJホールディングス」のもと、日本と中国を中心とした海外に所在する各事業子会社から構成されています
- ▶ 日本と中国両方の「文化」「言葉」「商習慣」に通じたマネジメントのもと、高技術で、トータルコストの優れたシステム開発を中心に「情報サービス事業」等を日本と中国で展開しています





●グループ構成②

■黄枠：「情報サービス」事業
 ■緑枠：「石油化学エンジニアリングサービス」事業



情報サービス事業

●システム開発事業

システム開発、システム開発に関するコンサルティング、システムのメンテナンス・サポート

●ソフトウェア製品事業

ソフトウェアパッケージ製品の販売及びメンテナンス・サポート

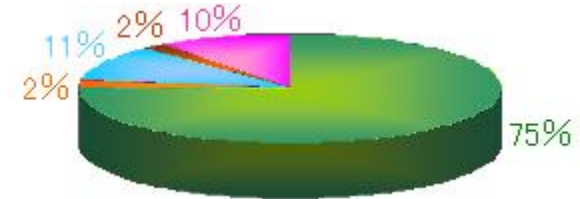
●情報関連商品事業

BtoB・BtoCソフトウェアパッケージ商品、情報関連機器等の販売

石油化学エンジニアリングサービス事業

石油化学関連設備・制御システムの設計・調達販売、プロジェクトマネジメント

事業種別別売上高比率 2007年度実績



■システム開発事業 ■ソフトウェア製品事業 ■情報関連商品事業
 ■石油化学エンジニアリングサービス事業 ■その他事業

※ 本体系図は、当社及び主要事業会社について記載しているものであり、SJグループに属するすべての企業、事業内容と提供プロセスを表しているわけではありません。



●事業内容

- ▶ SJグループでは、社会インフラを支えたり、経済効率を改善したり、より利便性の高いサービスを提供するための仕組み(システム)を開発・提供しています
- ▶ 皆さんの身近な所でも、SJグループの創った仕組みは活躍しています

電子カルテシステム

病院で診療の過程を電子情報として記録・管理する仕組みです

情報管理システム

大学で情報の管理・帳票出力をする仕組みです

廃棄物管理システム

原子力発電の際に発生する廃棄物を管理する仕組みです

インターネットバンキングシステム

インターネットを通じて、銀行と各種の取引ができる仕組みです

道路情報システム

道路を使っている人に規制・渋滞情報等を伝える仕組みです

マイレージシステム

マイレージを貯めたり、使ったりする情報を管理する仕組みです



●今後の事業展開

▶ 日本で培ったITビジネスノウハウを中国市場を中心としたアジア市場で本格展開していきます



※ M&A及びアライアンス構築の実施における基本方針は、大きく2つあります。

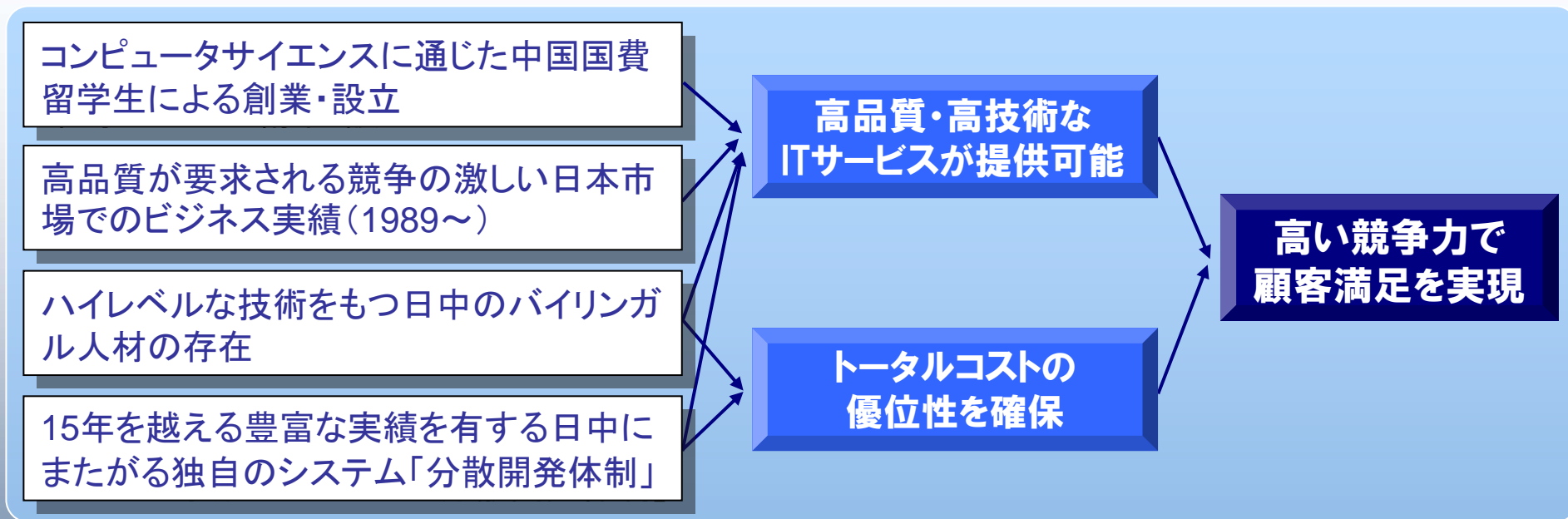
1. M&A及びアライアンス先の財務状況が健全であること
2. SJグループの専門性や総合力の強化につながり、事業シナジーが見込めること

また、経済成長が著しい中国においては、上記基本方針に合致しない場合においても、ビジネスチャンスを手早く捉えるため、慎重に検討を重ねた上で投資をおこなう場合があります。



●まとめ（特徴と強み）

◎ S Jグループ独自の日中シームレスな事業スタイル

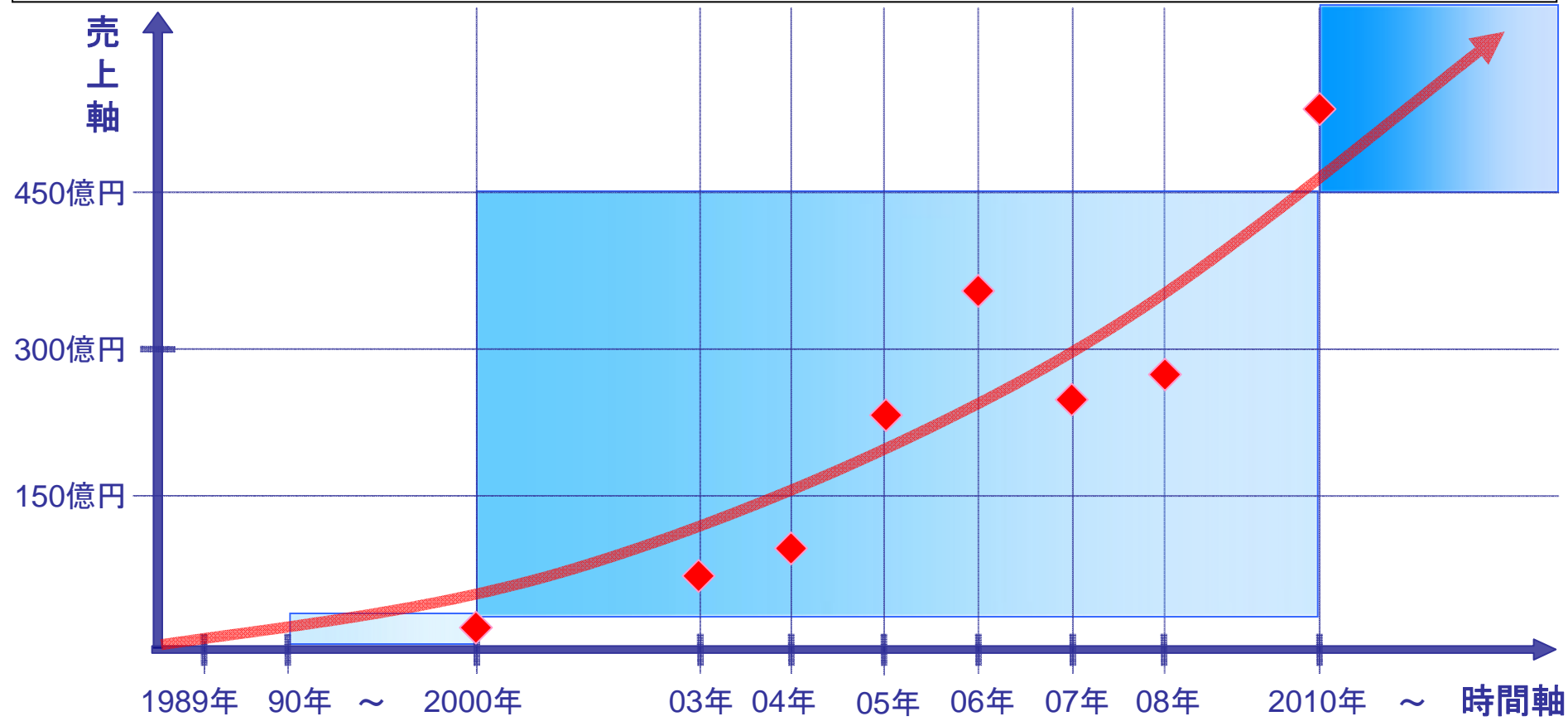


経済成長著しく、大きな成長余地が存在する中国を中心としたアジアでビジネスを本格展開



●成長の軌跡と今後の展望

■ ステージⅠ：ユニークな日中ソフト分散開発ベンダ
■ ステージⅡ：ユニークな日中シームレス事業展開ベンダ
（分散開発ビジネス+中国現地ビジネス）
■ ステージⅢ：中国トップクラスのITサービス企業



- イベント ● 会社設立 ● ジャスダック市場上場 ● 北京オリンピック開催
● 中国子会社設立 ● (株)TCCと経営統合 ● 上海万博開催
● 中国現地SIビジネス参入 ● (株)アイビートと経営統合／純粋持株会社化

2. 業績の推移について

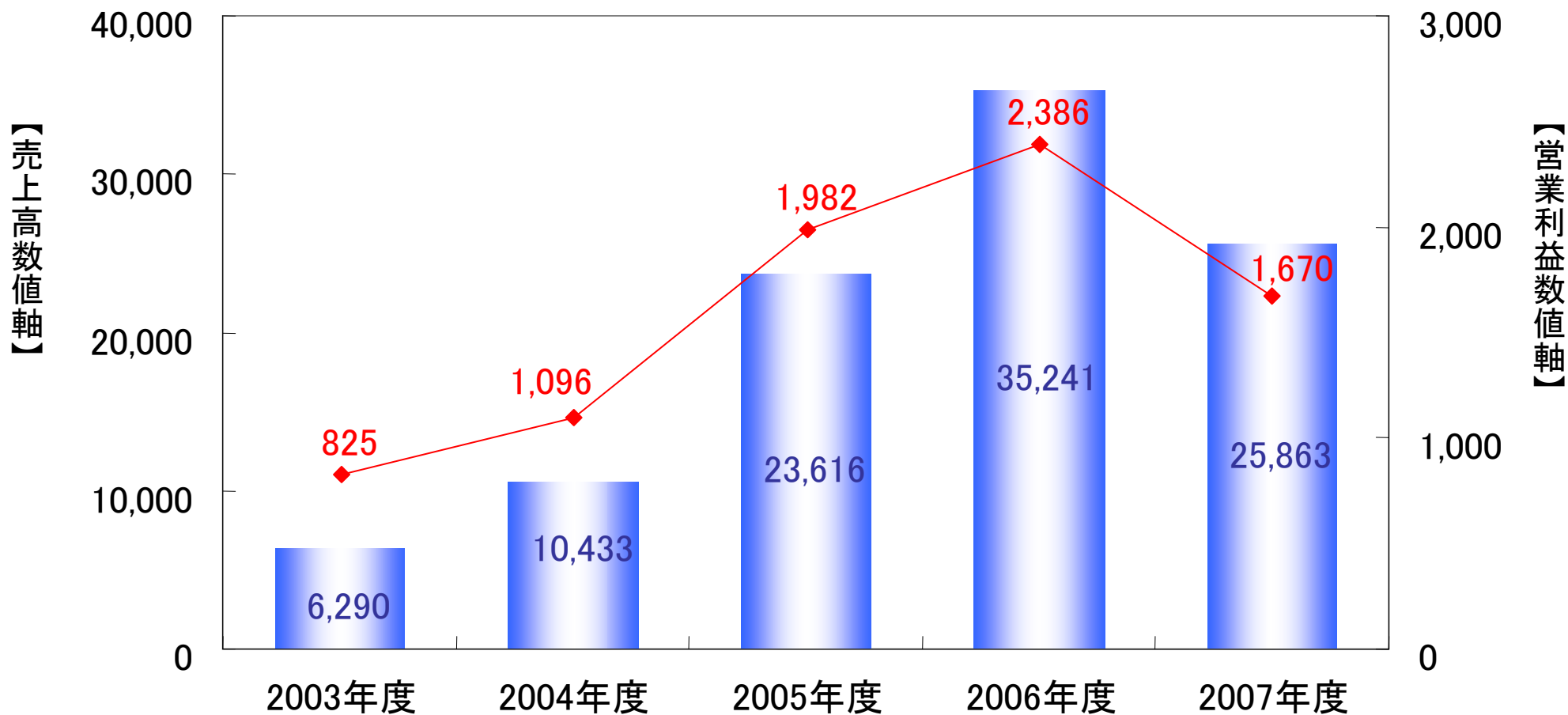




●売上・営業利益推移 【連結】

■ 売上高 ◆ 営業利益

単位：百万円





●各種指標 【連結】

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
売上高営業利益率 (%)	13.1	10.5	8.4	6.8	6.5
一株当たり当期純利益 (円)	5,911	△8,243	1,945	2,741	380
自己資本比率 (%)	69.2	58.0	35.9	42.0	36.7
R O E (%)	16.9	△12.6	12.5	14.7	2.1

※ 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しています。また、株式分割の影響は考慮しておりません。2004年は連結調整勘定(のれん代)の一括償却を実施したことにより、当期純損失となっています。



単位:百万円

	2008年度第2四半期		期 初 計 画 達 成 率	前 年 比
	数 値	構 成 比		
売 上 高	13,006	100.0%	101.6%	109.0%
営 業 利 益	612	4.7%	75.1%	68.3%
経 常 利 益	660	5.1%	83.7%	70.4%
四半期純利益	347	2.7%	135.5%	67.5%

※ 当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、単体の実績は記載を省略しております。

3. 当期の事業展開について





●年間経営目標

**受注ルートの拡大と高収益ビジネスへの参入を目的とした
M & A 及びアライアンスの積極的推進**

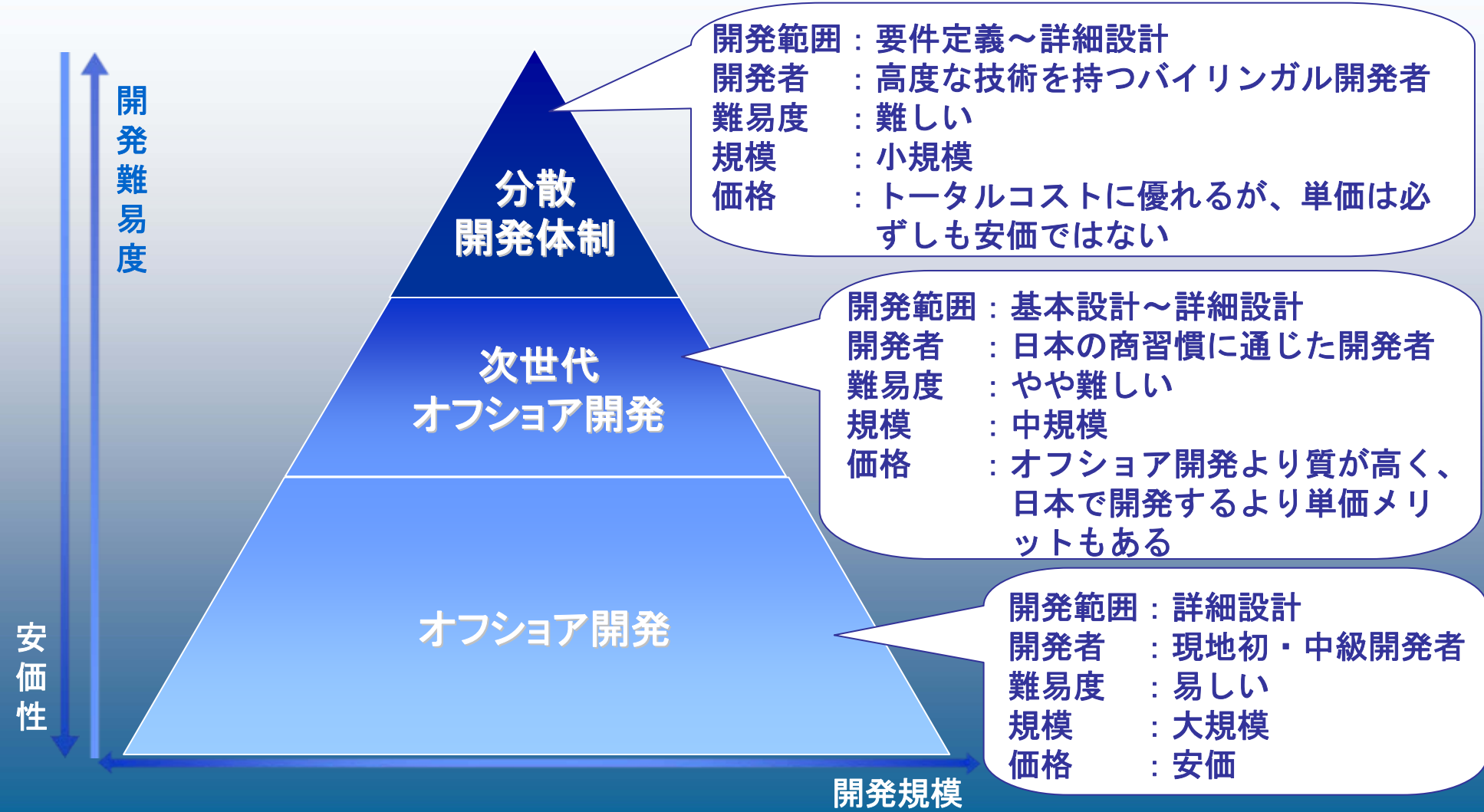
**システム開発事業におけるオフショア／次世代オフショア
ビジネスへの注力**

**事業カテゴリーの明確化及び事業推進体制の再構築（事業
推進単位の設定）によるグループ経営の推進**



●システム開発における分散開発体制～オフショアの位置づけ

◎分散開発体制／次世代オフショア／オフショアのイメージ図





●事業推進体制の再構築（事業推進単位の設定）

◎事業推進単位



4つの事業ブロック

ブロック1



日本国内向けシステム開発事業ブロック

- ◎安定顧客の確保と個々のプロジェクトにおける収益性の向上
- ◎不採算事業からの撤退と組織統廃合による不要・間接コストの圧縮

ブロック2



オフショア開発事業ブロック

- ◎中国子会社が独自に営業活動を展開し、オフショア案件を獲得
- ◎人材採用による開発力強化を進め、中国子会社の日本法人を設立

ブロック3



中国国内向けSI事業ブロック

- ◎高成長で資金回収が比較的安定しているセクタを中心に事業展開
- ◎新子会社のLDBL等を窓口とし、最終顧客から受注する体制強化

ブロック4



成長市場向け新規事業ブロック

- ◎中国市場に特化した新規事業を展開
- ◎現在は、今期よりフル連結の石油化学エンジニアリング事業に注力



●年間経営目標達成のための諸施策

国内部門

- (株)菱化システム、イーピーエス(株)、(株)ブロードリーフとのアライアンス推進
- 大手SIベンダーとの連携による次世代オフショア立ち上げ
- 前期に立ち上げたSJAにおけるERP事業の積極的推進
- 新たな事業推進単位(ブロック)の日本子会社への導入

アライアンスの推進

オフショアの立上げ

高収益SI事業推進

事業推進単位導入

海外部門

- LDBL及びHKHSの収益拡大及びグループ安定化
- LDNSの体制整備と東京進出による次世代オフショア立ち上げ
- コンピューター情報SI資格1級を持つEBT中心に中国SI事業注力
- 新たな事業推進単位(ブロック)の中国子会社への導入

M&Aの成果獲得

オフショアの立上げ

中国SI事業注力

事業推進単位導入



●2008年度第2四半期(累計)の取組み (目標達成に向けた諸施策の実施状況)

国内部門

【第2四半期の取組み】

- アライアンスの推進 → (株)ブロードリーフと共同ビジネスプロジェクトを推進中
- オフショアの立上げ → アライアンスに向け大手SIベンダーとの意見交換を実施中
- 高収益SI事業推進 → ERP(Enterprise Resource Planning)事業の収益拡大
- 事業推進単位導入 → 新たな事業推進単位(ブロック)を導入済。組織再編検討へ

海外部門

【第2四半期の取組み】

- M & Aの成果獲得 → 年初に子会社化したLDBL及びHKHSの収益が順調に拡大
- オフショアの立上げ → LDNSの営業窓口子会社リーディングソフトを東京に設立
- 中国SI事業注力 → 政府／インフラ系を中心にEBT及びLDBLの業績が好調
- 事業推進単位導入 → 新たな事業推進単位(ブロック)を導入済。組織再編検討へ



●その他の第2四半期(累計)の取組み及び成果

- ▶ イーピーエス株式会社との資本・業務提携
- ▶ 株式会社ブロードリーフとの業務提携
- ▶ 福建聯迪商用設備有限公司(LDCE)の非連結子会社化
- ▶ 自己株式の取得(取得期間:2008年6月30日~8月29日、取得株式数 15,400株(発行済株式数の3.09%)、総額 430,128,220円)
- ▶ ホームページの大幅リニューアル実施(日興アイ・アール(株)の「2008年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、新興市場ランキング「最優秀サイト」(1,344社中20位以内)を受賞)



●2008年度 業績見通し 【連結】

単位：百万円

	通 期	
	数 値	前 年 比
売 上 高	27,000	4.3%
営 業 利 益	2,396	38.0%
経 常 利 益	2,379	40.0%
当 期 純 利 益	1,021	237.5%

※ 世界的な金融危機の広がりやIT投資の減少からくる当社業績への具体的な影響が見通し難い部分もございますが、現時点におきまして5月15日発表の業績予想より変更はございません。
今後、通期連結業績予想に関する見通しに変更がある場合は、適時、適切に開示いたします。



●株主還元方針

◎利益配当金について

- ➡ 成長の為の内部留保を念頭に置きつつ、積極的に株主還元を行う所存
- ➡ 利益還元は、継続的かつ安定的に実施する方針

◎一株当り配当金の実績と予定

	2006年度実績	2007年実績	2008年予定
1株当り配当金	800 円	200 円	600 円

配当金については、連結における配当性向30%前後を基本として、定時株主総会にてご提案申し上げる方針であります。



●将来に関する事項等の記載に関するご注意

本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。将来に関する事項につきましては、様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

【参考情報】





● 経営理念／経営方針／ロゴマーク

● 経営理念

SJグループは、社員一人ひとりの個性を尊重し、技術・経験等のあらゆる英知を結集して、お客様に満足度の高いサービスを提供することにより、人々の豊かな生活の実現に貢献します。

● 経営方針

顧客のコアビジネスにおける課題解決に尽力することで、真に信頼・安心いただける良き企業市民を目指します。



- 世界へ向かって、大空を飛ばたくIT企業。
- 鳥のようにも、太陽のようにも見えるデザインで「成長」「ボーダレス」「躍進」をイメージしています。
- 同時にデザインは国籍のニュアンスがない世界感を表現しています。



● 役員紹介

肩書	名前	略歴
代表取締役会長兼社長	李 堅	北京大学入学。 1981年、国費留学生として来日。 電気通信大学にて学士号及び修士号取得。東京大学の博士課程中退。 1990年4月、SJホールディングス(旧サン・ジャパン)に入社。
取締役副社長	琴井 啓文	中国科学技術大学入学。 1981年、国費留学生として来日。 京都大学にて学士号及び修士号取得、博士課程修了。 1990年6月、SJホールディングス(旧サン・ジャパン)に入社。
取締役 経営・管理本部長	木村 裕	元 株式会社電通国際情報サービス 常務取締役。
取締役相談役(非常勤)	辻川 幸二	元 株式会社SJホールディングス会長。
取締役(非常勤)	平田 昇	元 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ取締役。
取締役(非常勤)	高瀬 美佳子	元 KPMGユーロセンター社員(英国MBA取得)
取締役(非常勤)	齋藤 潔	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 部長(社外取締役)。
監査役	牧田 啓	
監査役(非常勤)	増田 輝夫	
監査役(非常勤)	宮本 進	



● S J グループ紹介①

株式会社SJホールディングス 略称: SJHD



株式会社 SJホールディングス

株式会社SJホールディングスは、SJグループ企業を統括する管理運営会社です。

グループ各社の特色を生かすことで、各会社間のシナジーを最大限に発揮させ、品質・価格・納期におけるグループ全体の競争力の向上を図ること、積極的な海外展開を推進することをその使命としています。

- 所在地 東京都品川区東品川四丁目12番8号(品川シーサイド イーストタワー)
- TEL 03-5781-7311(代表)
- FAX 03-3472-0714
- 代表者 代表取締役会長 兼 社長 李 堅
- 設立 1989年7月(純粋持株会社化・商号変更2005年4月)
- 資本金 約10億円(2008年3月31日現在)
- 主要株主 役員 / NTTコムウェア株式会社 / イーピーエス株式会社 他



● S J グループ紹介②

株式会社サン・ジャパン 略称: SJ



株式会社サン・ジャパンは、ソフトウェアの受託開発を主な業務とする情報サービス企業です。

コンピュータサイエンスの基礎知識に裏付けられた高度な技術力・開発力を有し、システムダウンが許されない大規模かつ高速性が要求される(いわゆる「ミッションクリティカル」な)情報処理システムの開発に定評があります。

また、1990年代初め頃から、中国グループ会社との「ユニークな分散開発体制」を確立・実現し、短納期・高品質な情報サービスをリーズナブルコストでご提供しています。

- 所在地 東京都品川区東品川四丁目12番8号(品川シーサイド イーストタワー)
- TEL 03-5781-7333(代表)
- FAX 03-3472-6337
- 代表者 代表取締役社長 高瀬 美佳子
- 設立 2005年4月(事業開始1989年7月)
- 資本金 1億円(2008年3月31日現在)
- グループ出資比率 100%



● S J グループ紹介③

株式会社SJアルピーヌ 略称:SJA



株式会社SJアルピーヌは、ソフトウェア開発を主な事業とするシステムソリューション・プロバイダーです。

金融(銀行、証券、保険等)、産業(流通、製造、公共、医療等)の業種におけるコンサルテーションから運用までの一貫したワンストップサービスと、業務アプリケーション開発やネットワーク・データベースなどの基盤技術に関する豊富なノウハウ活用による高付加価値ソリューションを提供しています。

きめ細やかなサービスと社員ひとりひとりの熱いチャレンジ精神をもって、高レベルの「品質」「スピード」「コスト」を実現してまいります。

- 所在地 東京都品川区東品川四丁目12番8号(品川シーサイド イーストタワー)
- TEL 03-5769-8200(代表)
- FAX 03-3472-6295
- 代表者 代表取締役社長 平田 昇
- 設立 2006年4月
- 資本金 3億円(2008年3月31日現在)
- グループ出資比率 100%



● S Jグループ紹介④

聯迪恒星(南京)信息系統有限公司 略称:LDNS



聯迪恒星(南京)信息系統有限公司は、1990年初頭から日本市場向けビジネス・アプリケーション開発の実績を有する中国南京市を本拠地としたITサービス企業です。

システム開発工程におけるリスク管理/進捗・品質管理/日本語教育などを徹底することで、中国・日本間のシームレスな分散開発体制を確立。日本市場及び現地日系企業向けに品質・コスト面ともに最高レベルのITサービスを提供しています。

また、本社の開発センターに加え、北京、上海等主要都市のパートナーとの協業により、中国国内での事業展開も積極的に推進してまいります。

- 所在地 中国 南京市奥体大街69号新城科技広場5棟5階
- TEL +86(25)8324-9500(代表)
- FAX +86(25)8324-9600
- 代表者 董事長 琴井 啓文
総経理 張 強
- 設立 1999年2月(事業開始1990年12月)
- 資本金 280万USD(約3.3億円)
- グループ出資比率 89.3%



● S J グループ紹介⑤

安徽科大恒星電子商務技術有限公司 略称:EBT



2000年11月に、科大創新股份有限公司、ソフトバンク・テクノロジー株式会社(設立当初出資者 ソフトバンク・テクノロジー・ホールディングス株式会社)、当社の3社合併により中国合肥市に設立されました。

日本市場向けに優れたシステム開発を行うとともに、日本からECビジネスモデル、EC関連製品を中国市場に導入し、ECシステムソリューションのトータルサービスを提供しています。

中国科学技術大学との連携から生まれる優秀な人的資源(大卒90%以上、博士・修士多数)を活かし、今後飛躍的な成長が見込まれる中国IT業界におけるリーディング企業を目指しています。

- 所在地 中国 安徽省合肥市 長江西路669号軟件園2号 2F
- TEL +86(551)5313-877(代表)
- FAX +86(551)5313-694
- 代表者 董事長 陳 意雲
総経理 董 永東
- 設立 2000年11月(事業開始1996年12月)
- 資本金 500万USD(約5.7億円)
- グループ出資比率 51%



● S J グループ紹介⑥

華深貿易(国際)有限公司 略称:HKHS



華深貿易(国際)有限公司は、中国市場において大手石油化学関連機関及び企業向けに、設備・制御システムの設計とプロジェクトマネージメントをおこなうSI事業会社です。

役員及び主要メンバーに石油関連機関及び企業の出身者を多く有し、同業界に関する経験と知識に基づいた、提案力、販売力に定評があります。

また、業界で国際的に知名度の高いメーカー(フランスのSCHNEIDER、イギリスのROTORK、アメリカのCAMERON、EMERSON、DELTAVALVE等)の販売代理店として、制御機器・情報システムの調達販売も行っています。

- 所在地 中国 香港(Room No.1805, 18F Tower Two Lippo Center No.89 Queensway)
- TEL +852 2840-0336(代表)
- FAX +852 2840-0331
- 代表者 董事長 左建中
総経理 左建中(兼務)
- 設立 1999年1月
- 資本金 10,000HKドル(約136,000円)
- グループ出資比率 51%



●ホームページ紹介

SJホールディングスのホームページでは、株主・投資家の方々をはじめ、広く皆様にご利用いただけるよう、「正確」かつ「タイムリー」で「わかりやすい」情報開示を心がけ、情報発信をおこなっています。

SJホールディングス

検索

URL : <http://www.sjholdings.co.jp>

2008年10月発表の日興アイ・アール株式会社「2008年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」(対象企業:3,920社)において、当社サイトが総合ランキングで「優秀サイト」(総合点偏差値65以上70未満)に、新興市場ランキングで「最優秀サイト」(1~20位)に選ばれました。

The screenshot shows the homepage of SJ Holdings. At the top, there is a navigation menu with links for 'SJグループについて', '株主・投資家情報', '会社案内', and 'IRニュース'. The main banner features a world map and the text: 'SJグループは、高度な技術力でトータルコストに優れた情報サービスを提供します。' Below the banner, there are logos for various subsidiaries: SJホールディングス, SunJapan, サンジャパン, SJ Alpine, SJアルピニア, 株式会社, and 株式会社. The main content area is divided into sections: 'SJグループについて', '株主・投資家情報', and 'ニュース'. The '株主・投資家情報' section includes links for '個人投資家の皆様へ', '株主の皆様へ', '株主情報(JASDAQ)', '決算情報', '財務ハイライト', 'IRカレンダー', 'よくあるご質問', and '電子公告'. The 'ニュース' section lists recent news items with dates and brief descriptions.